

One Medicine

創薬リサーチマネジメント人材実践的育成プログラム 履修ガイド 2025

Practical training program for human resources in drug discovery research management
based on the concept of One Medicine

Practical training program guide

2025

This group of lectures will be conducted
in Japanese.

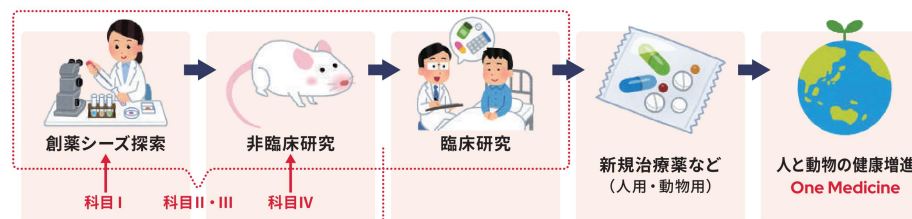


創薬リサーチマネジメント人材実践的育成プログラムの目的

本プログラムの目的は、創薬や医療技術の基礎知識と応用事例を学び、研究開発に必要な専門以外のスキル、「トランスファラブルスキル」を身につけることです。

具体的な創薬プロセスとリサーチマネジメント人材の位置づけ

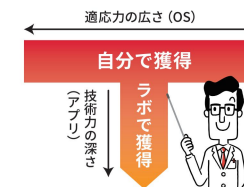
以下の図の通り日本では、創薬開発のプロセス全体を理解し、適切にマネジメントできるリサーチマネジメント人材が不足しています。この人材不足が創薬研究の進展を妨げています。そこで、創薬の専門知識やスキルを持ち、プロセス全体を俯瞰して業務を推進できる人材を育成するためのプログラムが設計されました。



日本では人材が不足。創薬研究推進の大きな障害に!!

リサーチマネジメント人材として獲得するスキル

創薬リサーチマネジメント人材が能力を発揮するためには、基礎的な創薬知識と研究スキル(科目Ⅰ・Ⅳ)に加え、コミュニケーション力やリーダーシップなどのトランスファラブルスキル(科目Ⅱ)を身につけることが必要かつ重要です。これらのスキルは、創薬事例研究(科目Ⅲ)を通じてさらに強化されます。



科目	科目名	単位	開講(予定)	コマ	講義コード
I	創薬基礎研究実践学	3	各講義による	各講義による	各講義による
II-①	リサーチマネジメント実践学 [基礎]	2	火4限	15	1USS02001
II-②	リサーチマネジメント実践学 [応用]	1	火4限	8	2USS02002
II-③	リサーチマネジメント実践学 [ロールプレイ]	1	7~8月予定	3 (1コマ4~5時間)	3USS02005
III	創薬シーズ育成研究実践学	1	火4限	8	2USS02003
IV	臨床研究実践学	1	不定期	調整中	3USS02004

過去の実績 - 2024年度の実施の様子 -



2024年度 受講者実績



受講者アンケートでは **5段階評価で4.7** の評価をいただきました!!

※科目IIの評価の平均値 (ロールプレイ編除く)

受講者平均
科目II
(ロールプレイ編除く)

基礎編 約60名 / 応用編 約40名

とても多くの方に
受講いただきました!



受講生たちの声を紹介
- Interview -



科目II-①【基礎】 | 名古屋大学大学院 創業科学研究科

私は、大学院では研究についての知識や技能を習得できる一方で、リーダーシップやコミュニケーション能力といったヒューマンスキルは身につけることが難しく感じていました。そんな中このプログラムに参加することで、私は社会に出て働く上で重要な能力について学ぶことができました。また、実際に企業で研究開発をしている方のお話を聞くことができることも、特に研究職を志望する学生にとってはとても良い機会だと思います。私もこの講義を通して学んだことを、今後に活かしていきたいです。



科目II-②【応用】 | 岐阜大学大学院 自然科学技術研究科 / 廣瀬 咲桜さん

普段の講義では聞くことが出来ないような実際に企業で研究を行っている方のお話より専門的な講義は、自分自身の新たな知見となり貴重な経験が出来たと感じます。特にセサミンやリンクルショットなど自分が耳にしたことのある商品の開発までの課題や今までにない取り組みについて、講義を通して知ることができたのはとても印象に残っています。実際に研究をされている方のお話を通して、今の自分の研究に生かせることが多くあり、多くの人に受けてもらいたい講義であると感じました。



科目II-③【ロールプレイ】 | 岐阜大学大学院 自然科学技術研究科 / 黒川 真起子さん

修士1年の4月に行われたガイダンスで本プログラムについて知りました。大学院では自分の専門分野だけでなく、幅広い分野について学びたいと考えていたため、受講しました。実際の講義では様々な方のお話を聞くことができ、創業の抱える課題や研究に対する考え方など、とても勉強になる講義ばかりでした。その中でも私がおすすめしたいのは実習編の講義です。グループワークなどの演習を通して、ネゴエーションやファシリテーションについて知り、それを日常生活で実践できることを体感しました。大学院での専門分野に留まらず、自分の視野を広げたい人にはおすすめのプログラムです。



科目IV【臨床研究】 | 岐阜大学大学院 自然科学技術研究科 / 神田 智壮さん

交渉の基本、現代製薬業界の動向、ファシリテーションの行い方…様々な講義がある大学院の授業の中でも、ここまで学べる機会が多い授業はこの講義以外ないのではないだろうか。本講義では外部講師の方が多く登壇され、創業の考え方から人と話をするときの心構えといったところまで幅広い分野を網羅している。これから得られる知識は、これから自ら思考し、自ら行動する社会人となる我々にとって活用できる引き出しにきつとなるであろうものばかりである。社会へ進むきっかけの1歩として本講義を役立ててみてはいかがだろうか。

スケジュール

開催日や講義内容は変更になる場合がございます。
最新情報はメールやHP等で周知いたします。



2025年度開講プログラム
最新情報 / 申込はこちら↑

科目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
科目 I	各講義のシラバスを参照											基礎研究専門力	
科目 II-①【基礎】							トランスファラブルスキル / 企業研究開発の実際						
科目 II-②【応用】										知的財産調査 / 企業研究開発の俯瞰			
科目 II-③【ロールプレイ】	通年のうち3日											トランスファラブルスキル	
科目 III													OneMedicine 研究理解力
科目 IV	TOKUPROの講義から選択											臨床研究理解力	

【科目 I】 創業基礎研究実践学 [単位数: 3]

自然科学技術研究科の科目より3科目以上受講。各講義のシラバスを参照してください。

【科目 II】 リサーチマネジメント実践学(基礎・応用・ロールプレイ) [単位数: 各2・1・1]

このプログラムでは、コミュニケーション力や交渉力、リーダーシップなどのトランスファラブルスキルを学びます。また、産業界のマネジメントを若手企業人(基礎編)と経営層(応用編)の視点から紹介し、知的財産の重要性も講義します。さらに、ロールプレイを通じて実践的にスキルを習得します。

日程(予定): 【基礎】4月15日～7月29日 毎週火4限 全15コマ 【応用】10月14日～12月2日 毎週火4限 全8コマ
【ロールプレイ】7月28日、8月1日、4日(予定)

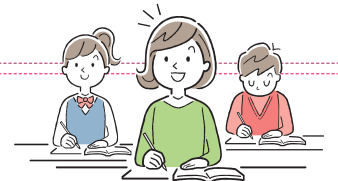
【科目 III】 創業シーズ育成研究実践学 [単位数: 1]

ライフサイエンス系教員と製薬企業出身の実務家教員より、幅広い視点からの人獣共通医療の観点や新創業テーマの探索等に関わる最新のトレンドを講義してもらいます。

日程(予定): 12月9日～2月3日 毎週火4限 全7コマ

【科目 IV】 臨床研究実践学 [単位数: 1]

「特徴あるプログラム TOKUPRO」から該当する授業を聴講します。
該当科目はHP等に掲載予定です。



科目II リサーチマネジメント実践学

開催日や講義内容は変更になる場合がございます。
最新情報はメールやHP等で周知いたします。



2025年度開講プログラム
最新情報 / 申込はこちら↑

【基礎】

受講方法	対面 / オンライン開催
開催日時(予定)	2025年4~7月 火4限
コマ数・単位	全15コマ・2単位
概要	獲得した専門知識や研究スキルを条件の異なる場面でも発揮できるような展開力を身につけるとともに、企業の若手研究者に産業界の研究開発の実際を学ぶ機会とする。

日程(火4限)	タイトル	講師
4月 15日	企業研究の手法 / イントロ	樋口 直樹 (岐阜大学)
4月 22日	イノベーションを起こす	宗像 基浩 (メルクエレクトロニクス)
5月 2日	コミュニケーション	福所 しのぶ (ライフエスティーム研究所)
5月 13日	知的財産マネジメント(基礎)	齋藤 優希 (サントリーHD)
5月 20日	リーダーシップ	板倉 朋宏 (LabBase)
5月 27日	プレゼンテーションの技法	高橋 佑磨 (千葉大学)
6月 3日	アントレプレナーシップ(概論)	山下 良一 (シーズレイザー)
6月 10日	アントレプレナーシップ(事例)	岩田 君彦 (ヒューロビント)
6月 17日	ライフサイエンス事業の研究と事業開発 ~若手企業研究開発者①~	若尾 撰 (東レ)
6月 24日	ウェットからドライへ ~若手企業研究開発者②~	須田 夏野 (帝人ファーマ)
7月 1日	私の考えた「研究」と「就職」 ~若手企業研究開発者③~	長屋 優貴 (アビ・岐阜大学OB)
7月 8日	異分野のなせ専業金庫に海外駐在とキャリアについて ~若手企業研究開発者④~	齋藤 明日香 (アステラス製薬)
7月 15日	化粧品業界の研究開発について ~若手企業研究開発者⑤~	辻 飛雄馬 (資生堂)
7月 22日	大学生から社会に、感じているギャップについて(個人見聞) ~若手企業研究開発者⑥~	小倉 麻梨子 (ダイセル)
7月 29日	博士号取得後の研究以外のキャリア ~若手企業研究開発者⑦~	愉 彦禪 (第一三共)

【応用】

受講方法	対面 / オンライン開催
開催日時(予定)	2025年10~12月 火4限
コマ数・単位	全8コマ・1単位

概要	産業界における知的財産権の重要性と実践的な調査方法を学ぶと共に、企業の研究所長クラスを招いての戦略的、俯瞰的な企業活動を学ぶ機会とする。	
日程(火4限)	タイトル	講師
10月 14日	知的財産調査 ~創業企業の知財調査からわかる企業戦略~	酒井 美里 (スマートワークス)
10月 21日	知財マネジメント(応用) ~製薬業界の環境変化と企業における知財の役割とは~	奥脇 智紀 (中外製薬)
10月 28日	日本の創薬研究の現状と今後の展望・オープンイノベーションによる日本初の新薬創出を目指して ~事業紹介①~	渡邊 修造 (あすか製薬)
11月 4日	電子材料から化粧品へ: シリカの可能性を広げる事業開発の軌跡 ~事業紹介②~	佐藤 美樹代 (トクヤマ)
11月 11日	老化防止サプリメントNMNの事業開発 ~事業紹介③~	山名 慶 (NOMON)
11月 18日	新薬創製の未来を拓くオープンイノベーションの取り組み ~事業紹介④~	小西 一誠 (旭化成ファーマ)
11月 25日	地球環境が激変する時代に、企業がなすべきことは ~サントリー天然水の森活動からのヒント~ ~事業紹介⑤~	山田 健 (サントリーHD)
12月 2日	ハウス食品グループの中期計画と新価値創出 ~事業紹介⑥~	上野 正一 (ハウス食品グループ)

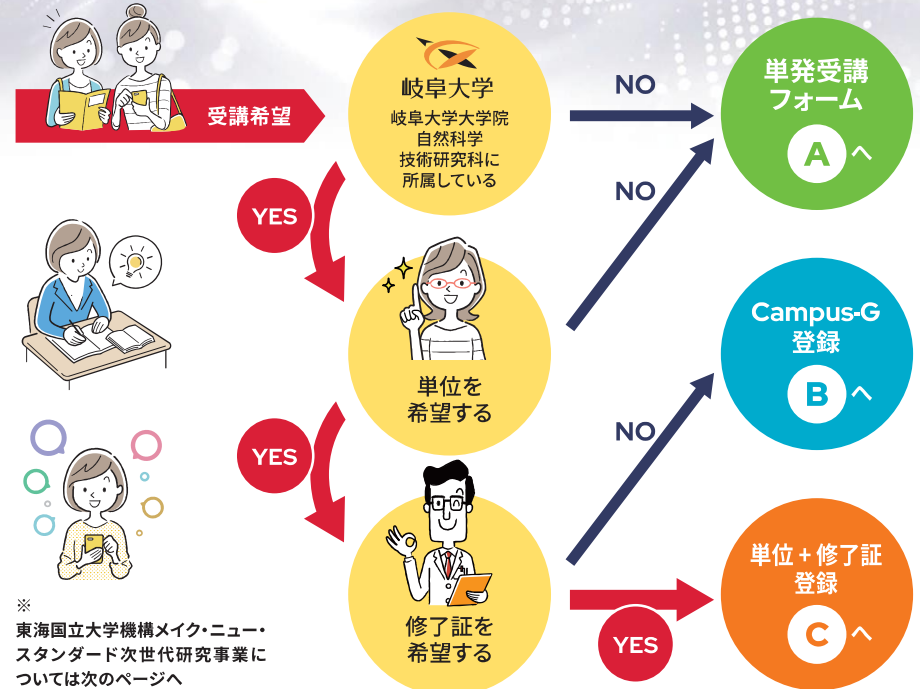
【ロールプレイ】

開催日時(予定)	2025年7~8月 3~5限
コマ数・単位	全3コマ・1単位 ※1コマ4~5時間程度

受講方法	対面のみ	概要	上記基礎編の展開力のうち、特に演習にてスキルをより身につけることができるものを重点的に学ぶ機会とする。
日程(火4限)	タイトル	講師	
7月 28日	ビジネスマナー	高原 温子 (マナーインストラクター)	
8月 1日	ネゴシエーション(交渉学)	隅田 浩司 (東京富士大学)	
8月 4日	ファンリテーション	関 尚弘 (古河電気工業)	

履修方法

単発受講も可能です。
下のチャートに沿って、自分に合う受講方法を選んでみてください。



※ 東海国立大学機構メイク・ニュー・スタンダード次世代研究事業については次のページへ

A 単発受講を希望する場合はこちら

HPより単発申込の受講する講義を選択し、フォーム画面にて事前申込をしてください。

B 単位のみを希望する場合はこちら

シラバス確認の上、Campus-Gから登録してください。

C 単位+修了証を希望する場合はこちら

Campus-Gから単位登録をした上で、右記QRコードのフォームより修了証希望の申込をしてください。

04

修了証・ 大学間連携



修了証の発行

本プログラムでは、所属する専攻の修了要件を満たすとともに、該当する単位を8単位以上修得することで修了証を発行いたします。本プログラム修了証は、COMITセンター長名で授与されます。

なお、本修了証授与をご希望の方は、単位登録に加えformsでの登録が必要です。(6P下C参照)

東海国立大学機構 For RESEARCHER

メイク・ニュー・スタンダード次世代研究事業



本プログラムのうち、科目IIのみが岐阜大学、名古屋大学の、東海国立大学機構メイク・ニュー・スタンダード次世代研究事業に採択された博士課程学生(リサーチメント)に対するポイント科目として認定されます。基礎編、応用編の90分授業受講1回で0.5ポイント、ロールプレイ編は4時間1講義で1ポイントです。出席等の情報は各大学のメイク・ニュー・スタンダード事務局と共有します。

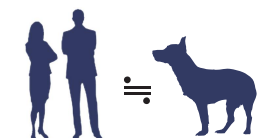
申請方法

リサーチメント用のTACTにて申請フォーム案内がありますので、そちらからお申込みください。
詳細は<https://www1.gifu-u.ac.jp/~gufellow/>を参照



One Medicine トランスレーショナルリサーチセンター

「岐阜大学 高等研究院 One Medicine トランスレーショナルリサーチセンター」は、「名古屋大学 One Medicine 生命・創薬 共創プラットフォーム」と連携し、「One Medicine 創薬シーズ開発・育成 研究教育拠点」を設置しています。本拠点は東海国立大学機構が両大学の連携を強化する連携拠点支援事業における支援対象に認定されています。



比較医学によるヒトと動物の類似疾患の共通点・相違点の地図化



オーダーメイド型疾患動物モデルでシーズのスクリーニング・薬効評価
(先端医療機器等の活用)



自然発症動物モデルでPOC確認

研究から開発への障壁 創薬研究における“魔の川”を超える



ヒト医薬品として
治験・申請



動物医薬品として
治験・申請

05

創薬リサーチマネジメント 人材実践的教育プログラム スタッフ紹介



One Medicine創薬シーズ開発・育成研究教育拠点 (COMIT) 拠点長補佐 (教育担当)
名古屋大学大学院医学系研究科 附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター

教授 近藤 豊 Kondo Yutaka

本プログラムでは、「One Medicine」で画期的な創薬を目指すために役立つ、「実践的な」知識が習得できるように、選りすぐりの講師陣が揃っています。ぜひ積極的に学び楽しんでください。



One Medicine創薬シーズ開発・育成研究教育拠点 (COMIT) 拠点長補佐 (教育担当)
岐阜大学大学院自然科学技術研究科 生命科学・化学専攻

教授 上田 浩 Ueda Hiroshi

本プログラム全体を通じ、One medicineという考え方や、基礎研究から臨床研究までの創薬プロセス理解の一助になればと思います。また、学生の皆さんが、今後、社会に出られた時、本プログラムの内容が活かされることを願っています。

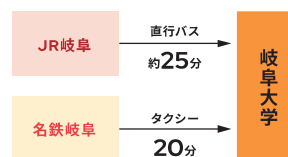


岐阜大学 高等研究院 One Medicine トランスレーショナルリサーチセンター リサーチマネジメント部門

特任教授 樋口 直樹 Higuchi Naoki

リサーチマネジメント実践学は自身の専門性や研究能力を、時期や場合にとらわれずに発揮するための、社会人としての基礎能力を獲得する講座です。また、企業研究者の実態やケースを学ぶことのできる絶好の機会ですので、お楽しみに!

岐阜大学キャンパスへのアクセス方法



岐阜大学高等研究院 One Medicine トランスレーショナルリサーチセンター 建物外観

交通アクセス

JR/名鉄岐阜駅から大学まで約7km。朝の通学は、岐阜駅からの直行バスが便利です。7:30~8:30までは、直行バスが5~7分間隔で運行。清流ライナーや普通を加えると3分間隔で運行しています。

岐阜大学高等研究院 One Medicine トランスレーショナルリサーチセンター



Address : 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1
U R L : <https://comit.gifu-u.ac.jp>
E-mail : comit-rm-program@t.gifu-u.ac.jp
(COMIT人材育成プログラム事務局)
T E L : 058-293-3162 (受付時間 平日9:00~17:00)

本プログラムは文部科学省「令和4年度国立大学改革研究・基盤強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)」の支援を受けています。

